

※第1回6月5日資料より

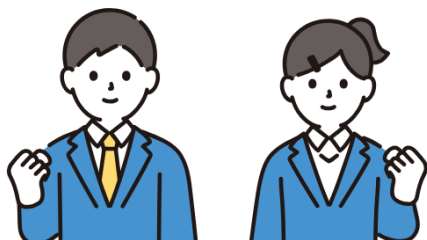
- ✓ 義務教育部会では、次期学習指導要領の論点整理なども踏まえながら、多様な学びのあり方や、義務教育終了までの学びの連続性、教育を支える教職員の働く環境のあり方など、①今後目指すべき義務教育の姿を示したうえで、これに適合する②教育環境や③適正規模について、ご議論いただきたいと考えています。
- ✓ 3つのテーマは相互に関連しています。全体のバランスも見ながら、総合的にご議論をお願いしたいと考えております。

【3つのテーマの概要】

テーマ① 目指すべき義務教育の姿

(どのような教育を実現したいか)

- ✓ これからの時代に求められる学びや教育のあり方とは何か。
- ✓ 次期学習指導要領や本市の取組の現状と課題を踏まえてご議論頂きます。



主な論点

- 多様化する子ども達を前提とした学びのあり方
- 義務教育9年間を通じた学びのあり方
- これからの義務教育を担う教職員のあり方

テーマ② 義務教育を支える教育環境のあり方

(目指すべき義務教育に必要な環境は何か)

- ✓ 多様な子どもたちの学びや育ちを支えるためにどのような教育環境が必要か。
- ✓ 全国の最新施設の動向等も参考にしながらご議論頂きます。



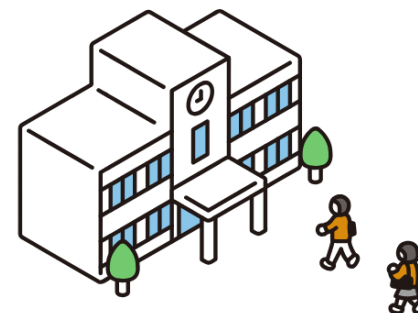
主な論点

- 多様な学びを支える教育環境のあり方
- 教職員の働く環境のあり方

テーマ③ 学校の適正規模のあり方

(目指すべき義務教育に適した規模とは何か)

- ✓ 教育活動や学校運営にとって望ましい施設の規模はどの程度か。
- ✓ 国の手引きや本市の現状や将来推計を踏まえてご議論頂きます。



主な論点

- 学校規模と教育活動等の関係
- 将来の児童生徒数・学級数推計を踏まえた教育環境のあり方

2 審議スケジュール案

○は各回の主要事項、※は補足的に取り扱う事項

	回数	内 容／関係課	目指す 教育の姿	教育 環境	学校 規模
全体会	第1回目	■ 諮問概要について(両部会に共通する事項) ・諮問の趣旨、背景、戦略のイメージ、児童生徒数の推計について			
義務教育 部会	第1回目	■ 義務教育部会の概要 ・審議テーマについて(目指す教育の姿、教育環境、学校規模の各々の説明と関連性)	○	○	○
	第2回目 ①	■ 学校の適正規模と市内の学校の状況 ※本日議題1 ・国の学校規模分類をもとに、本市における小規模校や大規模校の課題について議論する。		※	○
	第2回目 ②	■ 子どもたちが多様化していることを前提とした学びのあり方① ※本日議題2 ・本市が進める「カラフルな教育」の現状と課題、次期学習指導要領の論点整理における多様性の包摂に触れながら、今後、どのような学びのあり方を目指すべきかについて議論する。	○	※	
	第3回目 ①	■ 子ども達が多様化していることを前提とした学びのあり方② ・増加傾向にある特別支援学級についてどのような対応を進めるべきか、また、中一ギャップや長期欠席児童生徒支援のあり方についてどのようにあるべきかについて議論する。	○	※	
	第3回目 ②	■ 教職員の働き方改革について ・教育を支える教職員の働き方について、本市の現状と課題や国が進める働き方改革の動向を踏まえながら、教員が授業や教育活動に専念できる環境構築に向けて、どのような方策があるべきかについて議論する。	○	※	
	第4回目	■ 小中一貫教育の推進について ・小学校と中学校の学びの接続について、本市の小中一貫教育の取り組みに係る現状と課題や、近隣団体の取り組みを踏まえながら、どのようなビジョンを描き、進めていくかについて議論する。	○	※	
	第5回目	■ 教育環境と学校適正規模について ・これまでの議論を振り返り、施設環境等の教育環境と学校適正規模のまとめを行う。		○	○
	第6回目	■ 答申案の策定に向けて(部会のまとめ) ・これまでの議論を振り返り、審議の三つの観点のまとめを行う。 ・令和7年の国勢調査結果(速報値)を基にした最新値を基に、児童生徒数推計を確認する。	○	○	○
全体会	第2回目	■ 答申案の策定に向けて(全体のまとめ) ・両部会の審議経過の確認、答申案を確認する。			